

名前 湯川 かずとし



経歴

1948年 北海道根室市で出生
 1971年 北海道教育大学卒業
 1971年10月 東京都足立区に小学校教諭として赴任
 1998年4月 東京都荒川区に小学校教諭として赴任
 2011年3月 退職
 2012年4月 明るい革新区政をつくる会事務局長

基本的な考え方

区の目指すべき将来

1. 安心して住み続けられる荒川区
2. 賑わいとふれあいのある街荒川区
3. 子育てと生涯学習のまち荒川区

区の現状認識

- ・長引く消費不況に追い打ちをかけた消費税10%増税と新型コロナウイルス感染症。この危機から区民の命と暮らしを守ることが最優先の課題。

区の解決したい課題

- ・格差と貧困が拡大する中、区として独自の支援策を実施する
- ・大規模市街地再開発を見直し、くらし応援、災害に強いまちづくりにこそ財源を振り向ける

課題を解決するための重要政策

第1優先政策

社会的PCR検査の実施(保育、学校、介護事業所など)

期 間：感染収束まで
 数値目標：未回答
 予算：1億円

政策手段

プール方式、鼻腔自己採取など検討
 保健所体制への拡充

第2優先政策

学校給食無料化

期 間：2021年度
 数値目標：未回答
 予算：5億

政策手段

①2021年度第2子半額、第3子以降全額②2022年度第2子以降全額③2023年度完全無料化
 ※来年度、中学生の給食無料化、再来年度以降小学校無料化

第3優先政策

ジェンダー平等を区政運営の柱に

期 間：2021年度から5年間
 数値目標：未回答
 予算：未回答

政策手段

当面幹部職員、審議会等で女性の占める割合を30%以上に
 副区長など特別職に女性を登用

共通質問

共通質問1
 地震など防災、
 地域防犯対策
 について

- ・木造住宅の耐震補強、不燃化を促進。密集市街地整備事業をすすめる。東京都に働きかけ「不燃化特区」事業を継続、拡充させる。
- ・公的住宅の建設、借り上げ、住替えの促進。
- ・防災ひろばや公園の整備を住民合意ですすめる。

共通質問2
 高齢者福祉の充実
 について

- ・介護保険料の来年度見直しに際し、国庫負担の増額を強く求めるとともに、引き上げは行わない。
- ・介護職員の待遇改善のために区立特別養護老人ホームの補助増額と他の事業者への人件費補助など独自の人材確保策を推進する。
- ・介護職員の処遇改善、介護事業所の支援強化などに向けて介護報酬引き上げを国に求めるとともに、区独自の支援を強化する。
- ・高齢者が住み続けることができる多様な住宅や助成金制度を整備する。
- ・紙おむつ助成の所得制限を無くすなど区独自の高齢者福祉の拡充を行う。

共通質問3
 幼児、児童の
 子育て支援の充実
 について

- ・認可保育園の増設をすすめるとともに、施設の最低基準を改善するなど保育の質の向上を図る(幼保ともに)。
- ・学校給食の無償化に向けて年次計画を策定する。
- ・少人数学級編成に向けて国や東京都に強く働きかける。
- ・入学準備金の創設を行う。

共通質問4
 魅力あるまちづく
 について

- ・若手クリエイターの活動の交流発表の場を設け、若者による魅力を発信していく。
- ・子どもはじめ受動喫煙から守るため、通学路など公共空間を全面禁煙するための条例化などをすすめる。
- ・木造密集地域の生活道路なども電柱地中化を促進する。また公園用地の確保と整備をすすめる。
- ・歴史的建造物や史跡など荒川区の観光資源を保全し紹介する企画や場を作りICTも活用して魅力を発信していく。
- ・ジェンダー平等と個人の尊厳が守られ、多様性が活かされる荒川区をつくる。